

令和2年度 事業報告



「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ!」をコンセプトに、1歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)



御影インターナショナルこども園は、開園から7年目を迎えました。日本人としてのアイデンティティを身に付け、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てるという教育保育方針のもと、特色ある「MIK教育プログラム」「英語イマージョンプログラム」「生活プログラム」の3つの柱によって、

それぞれの個性を伸ばしながら発達段階に応じて生きる力を育みました。

保育所保育指針等において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、小学校との円滑な接続の重要性が増しています。本園においても、小学校との連携強化を図り、小学校での学びにつながる教育保育内容の更なる充実を図りました。

御影小規模保育ルームにおいても、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みました。

今年度、特に以下の項目において重点的かつ具体的に取り組みました。

- ①幼小接続
- ②保護者満足度の向上
- ③地域コミュニティとの連携
- ④財務改善

御影インターナショナルこども園
園長 三木 圭子

御影インターナショナル こども園

設置場所：神戸市東灘区御影2丁目15-27

定員：120名

■教育活動計画

1. 1歳児クラス

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行いました。また、石井式漢字教育を取り入れて、国語教育の礎を養いました。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行いました。また、外部講師による体育あそび教室も継続して行い、心身の健全な発達を促しました。

3. 3～5歳児クラス

英語イマージョンプログラムを実施しました。専任の担当者が、日々作成したプログラムに沿って、外国人教員と日本人保育士が連携してクラス運営を行いました。

4～5歳児については、Cambridge Exam, Starters (ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト)を1月に受検し習得度の確認を行いました。

また、様々な分野の外部講師を招聘し、絵画造形、体育あそび、リトミック、鍵盤ハーモニカ、論語の

クラスを定期的で開催しました。園児たちの興味と関心を広げ、大きく育てることができました。

■幼小接続

小学校教育との円滑な接続を図る観点において、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確に示されたことにより、本園においても、卒園後の学びにつなげるために一層の幼小接続に取り組みました。

小学校との連携を行うにあたっては、本園が文教地区に立地していることから、私立小学校だけでなく、近隣の公立小学校とも情報交換を図りました。

御影小規模保育ルーム

定 員：19名（0歳児～2歳児）

■保育方針と保育目標

保育指針に基づき、支給認定を受けた保護者の児童に対し、特定地域型保育を提供しました。

■保育活動計画

1. 0～1歳児クラス

健やかな生活を確立できるよう環境を整え、ともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけました。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養いました。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけました。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

本園では、地域との交流の一環として例年近くの神社で開催される「花びらまつり」などに園児が参加していました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の拡散状況を鑑み、拡散防止のため参加を予定していた行事がすべて中止になりました。

秋祭り、ファミリーコンサートや子育て講座など、地域の方にも参加していただける主催行事についても、同様の理由で開催を見合わせました。

■ボランティア活動、就業体験受入

昨年度、地域ボランティアの方々にご協力いただき、しめ縄づくりやクリスマス会など、多くの園行事を開催することができました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、可能な限り園児たちに様々な体験ができる機会を持ちました。

一方、近郊の大学で保育士を目指す就業体験学生の受け入れ、中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行う兵庫県の事業「トライやる・ウィーク」の学生受け入れについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できませんでした。

環境整備

■ICT化の推進

一昨年、保護者との連絡・情報共有、スタッフ業務の効率化のため、保育園管理システムを導入しました。今年度もお知らせ一斉配信、アンケート、ICカードによる登降園管理などの機能により、保護者とのコミュニケーションの向上を図るとともに、園児情報ほか様々な情報の共有、保育料請求などの業務効率化に役立てました。

■図書の充実

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本などの、児童・幼児用図書の充実を図りました。ご家庭でも絵本に親しんでいただくため、「ふくろう文庫」による図書の貸し出しを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、図書の貸し出しは中止しました。

■安全管理、健康管理

乳幼児や小学生の安心安全を担保するため、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理を徹底しました。担任は子どもの健康管理について、保護者との情報の共有に努めました。

乳幼児突然死症候群(SIDS)や非常災害などの発生時に備え、定期的に緊急時対応訓練を実施しました。

■職員研修

園内研修については、必要に応じて外部講師を招聘し、計画的に実施しました。園外研修についても、事情の許す範囲で保育士の能力向上に努めました。

園児の受入

■園児・児童の受入方針

御影インターナショナルこども園では、保護者に教育保育方針・目標などの内容を十分に理解していただくうえに入園していただくよう、入園説明会や親子面接の機会を利用して、園の方針を積極的に説明しました。

なお、御影小規模保育ルームは認可施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れました。

■入園説明会・施設見学

御影インターナショナルこども園では、体験型の入園説明会や施設見学会などで、園の方針を説明し、保護者の方のお子さまの教育保育に対する思いとミ

スマッチが生じないように努めました。

御影小規模保育ルームについては、神戸市へ支給認定手続き及び利用申込みの提出の際に、多くの入園希望者に選択いただけるよう、施設見学会を実施しました。また、個別見学も受け付けました。

■保護者満足度の向上

保護者満足度を向上させ、保護者からの評価が高まることが募集の大きなポイントになることを、職員一人ひとりが日々のミーティング等を通じてしっかりと自覚しました。満足度調査を定期的の実施し、更なる改善に努めました。

「けやきの会」(保護者会)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議等の開催を休止しました。代わってクラス担任と保護者の日々のコミュニケーションを強化することで、園児が健やかに生活できる環境を一緒に構築しました。

主な行事予定

4月	1日 入園の会 1日 進級式
5月	16日 親子のつどい・クラス懇談会 <中止>
6月	15日～19日 保育参観・個別懇談
7月	18日 入園説明会<中止> 22日 夏のフェスティバル<中止>
8月	22日・30日 入園説明会
9月	14日 祖父母参観日<中止> 18日～19日 お泊り保育 20日 運動会(小規模)
10月	25日 運動会(こども園) 30日 ハロウィンパーティー
11月	15日 七五三<中止> 18日 保育参観・クラス懇談会(こども園) 20日 保育参観(小規模)
12月	19日 みんなの発表会(こども園1～2歳) 24日 クリスマス会
1月	6・7日 初詣 24日 みんなの発表会(小規模)
2月	20日 みんなの発表会(こども園3～5歳)
3月	27日 卒園式

その他行事

誕生日会、遠足、子育て講座 など

児童・教職員数

(令和2年5月1日現在)

■在籍児童数

◎御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
1歳児	12	8
2歳児	18	18
3歳児	30	21
4歳児	30	22
5歳児	30	19
合計	120	88

◎御影小規模保育ルーム

クラス名	収容定員	在籍児童数
0歳児	19	3
1歳児		6
2歳児		7
合計	19	16

■職員数

園長	副園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	0	3	13	2	19